

●かいせつ

の壮大な遺産に挑戦する。の壮大な遺産に挑戦する。の壮大な遺産に挑戦する。に次ぐ話題巨篇として、この民族穂義士』。今こ、に東映時代劇の伝統と情熱を再び結集、大と演劇・映画など多くのジャンルで数々の名作を生んできた。赤演劇・映画など多くのジャンルで数々の名作を生んできた。赤

今回、忠臣蔵25本目の映画化として製作されるこの作品は、今回、忠臣蔵25本目の映画化として製作されるこの作品は、新潟そのもの、時代は来のいわゆる "美談、調とは趣きを一変、赤穂城断絶に始従来のいわゆる "美談、調とは趣きを一変、赤穂城断絶に始だって、忠臣蔵25本目の映画化として製作されるこの作品は、

ての意地、誇りゆえの壮絶な戦いである。

ての意地、誇りゆえの壮絶な戦いである。

での意地、誇りゆえの壮絶な戦いである。

での意地、誇りゆえの壮絶な戦いである。

での意地、誇りゆえの壮絶な戦いである。

を鮮やかに描破している。を鮮やかに描破している。として、一方これまで見落されていた幕府側、吉良方の動を担っているのも異色。また事変発生から切腹に至るまで、を狙っているのも異色。また事変発生から切腹に至るまで、を狙っているのも異色。また事変発生から切腹に至るまで、を狙っているのも異色。また事変発生から切腹に至るまで、を狙っている。

話題にこと欠かぬ秋の超大作である。
話題にこと欠かぬ秋の超大作である。

●本格的時代劇巨篇5大ポイント

召し上げとなった。喧嘩両成敗が習いというのに、この公儀切お咎めなしと決定。さらに赤穂・浅野家はお家断絶、領地んだ。将軍綱吉の命により、内匠頭は即刻切腹、上野介は一元禄14年3月14日、江戸城・松の大廊下で赤穂城主浅野内の幕府への反逆630日を描く野心作

栽決はあまりに不公平。

巨大な権力にもの言わせ、

なぜ5万

3千石の小さな藩を潰さねばならないのか!理不尽きわまりのら敢えて幕府への反逆を決意。家中一統を卆いて、以後りから敢えて幕府への反逆を決意。家中一統を卆いて、以後のから敢きに、浅野家城代家老・大石内蔵助は武士の意地と誇

②萬屋錦之介・深作欣二監督の再コンビ

78年初頭、空前の大ヒットを放った「柳生一族の陰謀」で、78年初頭、空前の大ヒットを放った「柳生一族の陰謀」で、当時が集まっている。

③製作費10億円の超豪華スケール

題材が題材だけに、本格的時代劇製作に投入する全費用は、費用2000万円。準備期間10ヶ月。撮影日数5日。撮点、費用2000万円。準備期間10ヶ月。撮影日数5日。撮影フィルムは7万フィートとすべてが常識破り。

4超一流のスタッフ・キャスト

時代劇の伝統が鮮烈に息づく東映京都撮影所の時代劇超工時代劇の伝統が鮮烈に息づく東映京都撮影所の時代劇超工時代劇の伝統が鮮烈に息づく東映京都撮影所の時代劇超工時代劇の伝統が鮮烈に息づく東映京都撮影所の時代劇超工

⑤ラストの討入りと圧巻の切腹シーン

本穂浪士の吉良邸討入りシーンは、ラストのほ、20分余を赤穂浪士の吉良邸討入りシーンは、ラストのほ、20分余を赤穂浪士の古良邸討入りシーンは、ラストのほ、20分余を赤穂浪士の古良邸討入りシーンは、ラストのほ、20分余を

(を) 1 (本) 20 (*** 20 (